記者発表資料

平成２４年９月２４日
東北地方整備局
仙台河川国道事務所

渇水情報　終報

広瀬川の流況が回復する

～名取川水系渇水対策仙台支部（注意体制）の体制解除～

〇仙台河川国道事務所では、名取川水系広瀬川の流況悪化により、河川環境及び利水者への影響が懸念されたことから、８月２１日に注意体制を設置しておりましたが、かんがい用水（農業用水）の取水が終了し、名取川水系広瀬川の流況が改善され安定する見通しから、本日、１３時に注意体制を解除しました。
〇河川環境及び水利用に対し、関係各機関との情報の共有と連携による対応を行い、渇水を乗り切ることができました。

＜注意体制中の対応状況＞

○　８月２３日から
仙台市は、8/23～愛子ため池（斉勝沼含む）から約 0.2m3／s を放流し、広瀬川の河川環境の保全に寄与しました。

○　８月２４日－名取川水系渇水情報連絡会を開催－
さらなる渇水状況に備え、河川、ダムの状況及び今後の気象等について相互の情報共有を行い、予防措置的に注意喚起しました。

○　広瀬川流域の水田約１，３００ha に対し、大倉ダム（宮城県）と連携して放流を実施し、稲穂の生育に影響を与えないよう対応しました。

○　河川流量の低下に伴う、河川の生態系への影響が懸念されることから、河川巡視を強化し監視に努めてきましたが、魚の斃死や、瀬切れ、水質悪化、取水障害等は確認されませんでした。

発表記者会：宮城県県政記者会・東北電力記者会・東北専門記者会

（問い合わせ先）
仙台河川国道事務所（TEL　022-248-4131）
河川副所長　大場　　將　（内線　204）
河川管理課長　高梨　浩志　（内線　331）

－　参　考　－

＜今後の見通し等＞

○　本日９時現在　広瀬橋地点７．５７m3／s

○　大倉ダム

広瀬川上流の大倉ダムでは本日９時現在貯水率２５．６％です。
貯水位は過去５カ年平均より低い状況ですが、上水道、工業用水道の取水に影響を及ぼさない見通しです。

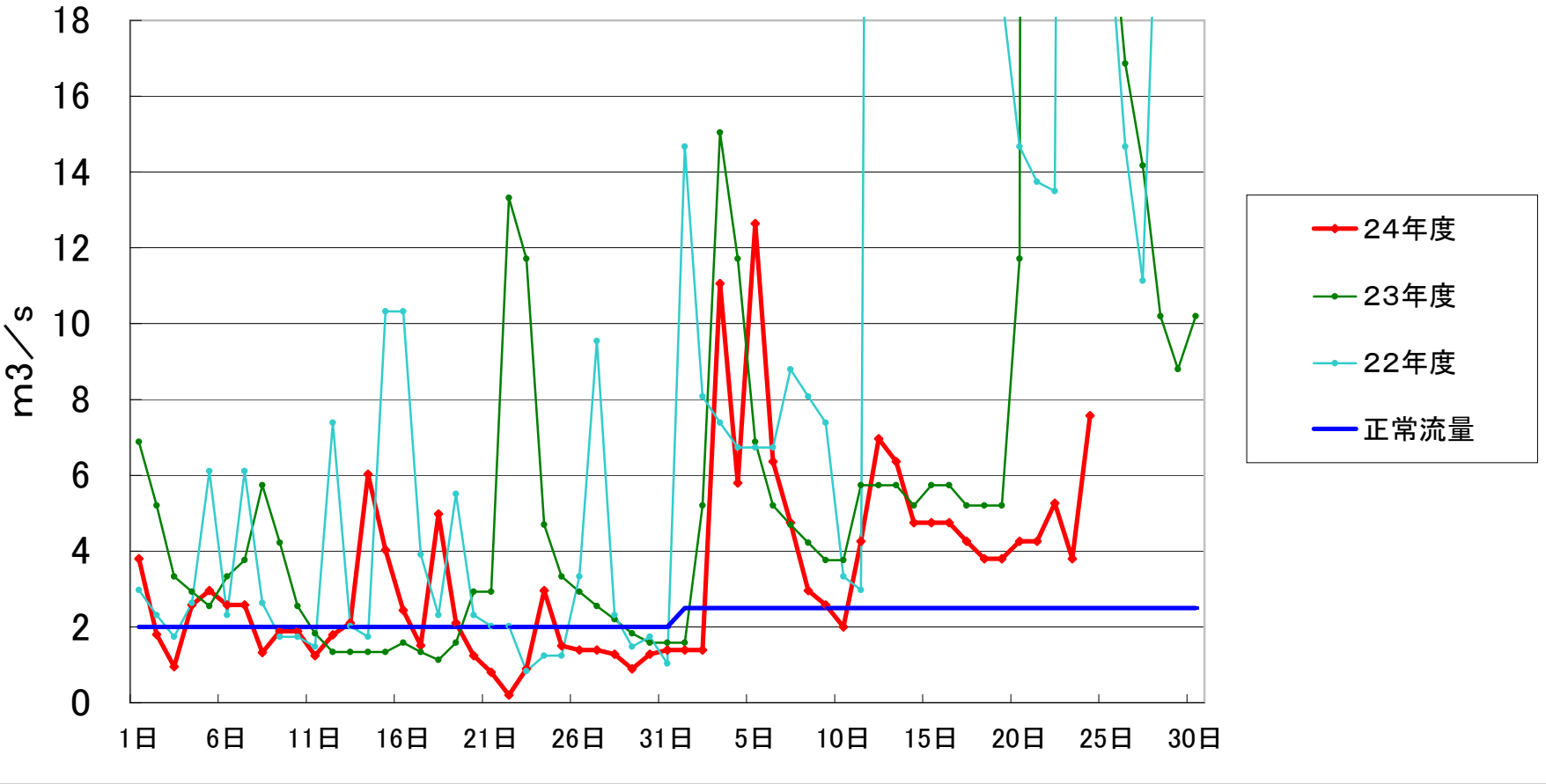
※　大倉ダムに関する問い合わせ先

宮城県　土木部　仙台地方ダム総合事務所
大倉ダム管理事務所（TEL　022-393-2211）
事務所長　　松澤　　茂
技術主幹　　及川　　洋

※　愛子ため池（斉勝沼）に関する問い合わせ先

仙台市　農林部（TEL　022-214-8268）
農林土木課長　　佐々木　武広
主任　　佐山　正義

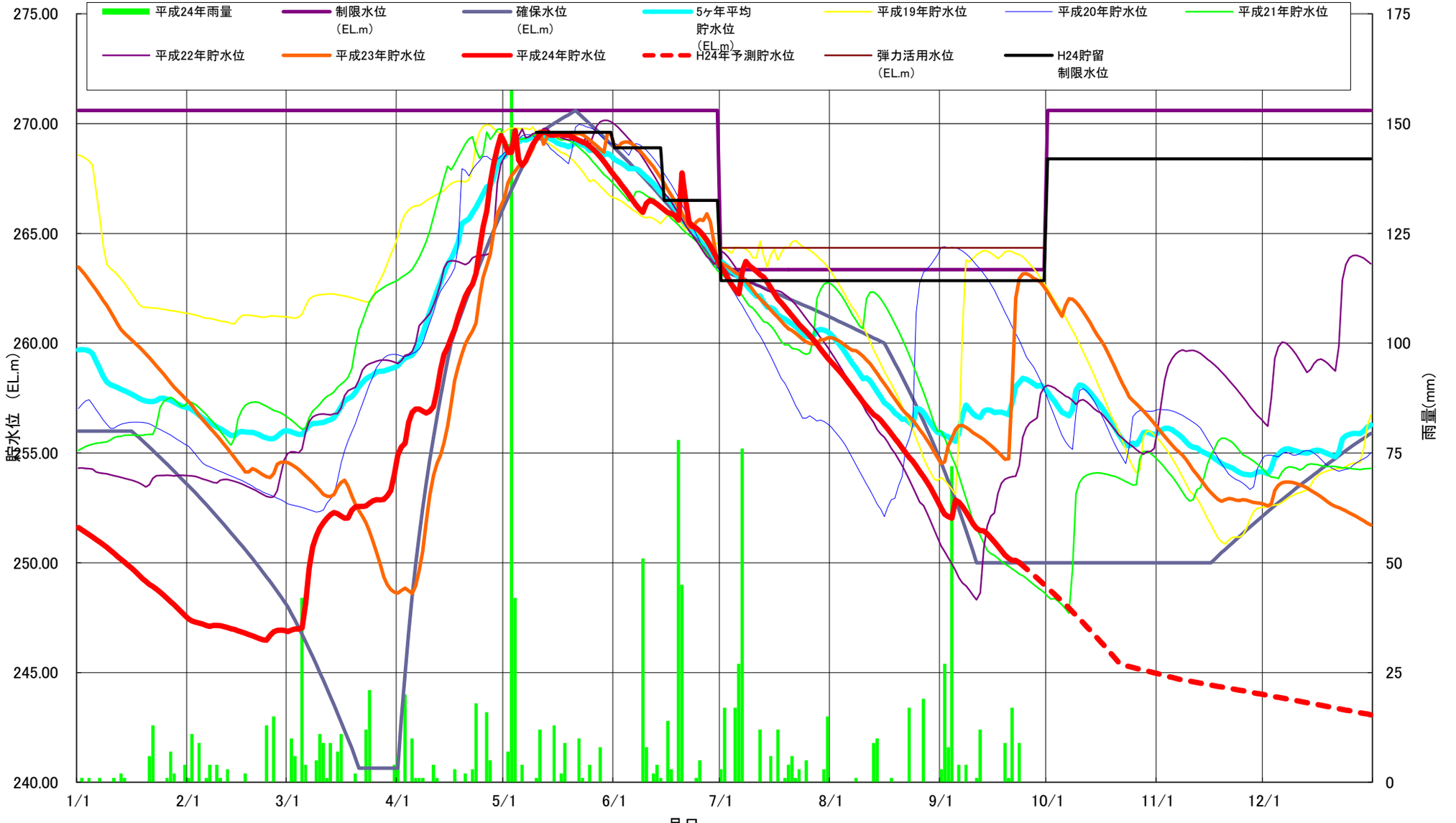
広瀬橋流量 【AM9:00現在】



8/21～注意体制 → 9/24注意体制解除

H24貯水位曲線図（0－24時）

平成24年9月24日　想定



※予測流入量は、8月24日までの日流入量の最低値である 8/20の流入量 1.42m3/sとした。
※発電取水量を、10月22日から 0 m3/s（非常バルブ放流 1.5m3/s）と想定した。